

平成 30 年度第 1 回埼玉代協理事会 議事録

一般社団法人 埼玉県損害保険代理業協会
議事録作成人 木村 道雄

日時 平成 30 年 4 月 17 日 (火) 14 時 00 分～17 時 00 分

場所 With You さいたま セミナー室 2
さいたま市中央区新都心 2-2 ホテルブリランテ武蔵野 4F

出席

正副会長	清水克俊、益子一志、藤井克史、神林早苗、杠葉祐樹
中央支部	岩崎栄、木村公彦、山崎一樹、金澤忠
東部支部	木村道雄、赤沼邦久、大徳和人、熊谷健介
西部支部	山内肇、横山健一郎、小田恵一、塩野忠、見澤芳昭、山崎将史
南部支部	池浦正文、岩瀬晃司
北部支部	萩原義隆、岡正徳
直前会長	森寛人
専務常務	斉藤高士、澁田昇 (以上理事 36 名のうち出席 23 名)
監事	若生健一、杠葉達夫
顧問	関根茂

次第

開会宣言 斉藤専務

1. 会長挨拶・・・清水会長

・時候のご挨拶及び総会前の大切な理事会であることを確認

2. 議事

- ① 議長就任・・・清水会長
- ② 出席者・定足数確認・・・斉藤専務より理事会開催定足数を満たすことを確認
- ③ 議事録作成人・・・署名人の確認・・・東部支部 木村 道雄・・・署名人 杠葉 達夫
- ④ 前回議事録承認・・・斉藤専務より議事録は速やかに作成する様指導有
・・・澁田常務・斉藤専務確認のもと誤字・脱字を訂正し承認とする

審議

清水会長より冒頭事務所体制の件で、坂本さんが家庭の事情により退職意向がある旨を説明
会員の皆様にご理解頂きたい旨の報告がある

又、早急に 2 名体制を確立したいとの希望有り

- ① 総会資料について (今年度実績と来年度活動予定、決算・予算案、組織図 他)
・澁田常務より「第 10 回平成 30 年度通常総会召集のご案内」を基に訂正箇所を確認する
通常総会の日時・場所・基調講演の内容を確認及び総会付議事項の全項目を読み上げる

訂正箇所

■第 1 号議案

- ・澁田常務より・・・埼玉代協オープンセミナー講師② 榊恭兵→榊恭平
- ・澁田常務より・・・南部支部・講師フジ総合グループ代表 藤宮博→藤宮浩
- ・斉藤専務より・・・親睦ボーリング大会→親睦チャリティーボーリング大会へ変更
- ・岩瀬委員長より・・・正会員数は 397 名では？

- ・ 齊藤専務より ・ ・ 日本代協締切りのタイミングで埼玉代協では395名です
- ・ 横山理事より ・ ・ 正しく調整を行うことで予算を実行
- ・ 齊藤専務より ・ ・ 395名で決定 ・ 次期の会員増強目標に2名を追加し17名とする

■平成29年度事業一覧

- ・ 澁田常務より ・ ・ 広報山崎委員長に機関紙掲載のOKを確認

■会員増強

- ・ 澁田常務より ・ ・ 新入会員19名
- ・ 澁田常務より ・ ・ 事務局は会員氏名、代理店名等の誤りチェックをするよう指示

■収支計算書

- ・ 齊藤専務より ・ ・ 当期収支差額が651,852円であることを説明
- ・ 澁田常務より ・ ・ 次期繰越金が3,419,806円であることを説明

■正味財産増減計算書

- ・ 澁田常務より ・ ・ 記載通り

■貸借対照表

- ・ 澁田常務より ・ ・ 退職給与引当預金257円について説明
- ・ 前職員分の退職金利息であり次期に0円になる

■財産目録

- ・ 澁田常務より ・ ・ 記載通り

■監査報告書

- ・ 澁田常務より ・ ・ 若生監事・杠葉監事に監査いただき、署名、押印してもらう

■第2号議案

- ・ 澁田常務より ・ ・ 昨年通りで確認OK

■第3号議案

- ・ 澁田常務より ・ ・ 氏名その他確認OK

■第4号議案

- ・ 30年度事業計画・具体的な活動報告の内容を確認

※組織委員会

- ・ 15名増員→17増員に修正し412名に又組織率も33.6%に変更
- ・ ④の代理店賠償説明会の開催を組織委員会年間活動予定表一覧に記入する

※教育委員会 ・ ・ 記載通り

※企画環境委員会 ・ ・ 記載通り

※広報委員会

- ・ 齊藤専務より ・ ・ ③報道の活用に予算執行の為に「**広告・報道**」と変更したほうがよい
- ・ 山崎委員長より ・ ・ 広告を入れた場合、広報委員会で広告を作成するのか
- ・ 齊藤専務より ・ ・ たとえば代協ホームページは対外・対内の双方の性質が有る
- ・ 山崎委員長より ・ ・ 対外は埼玉代協全体の取組ではないのか
- ・ 齊藤専務より ・ ・ 発案・企画は広報でやるべきではないか
- ・ 山崎委員長より ・ ・ 広告の企画は執行部に協力して頂かないと難しいのでは
- ・ 齊藤専務より ・ ・ 執行部と相談しながら・まずは広報で行い会長・専務・常務に相談する
- ・ 熊谷仮委員長より ・ ・ 自分は今こうしたいは無いため会長等に指示を受けやりながら実行する
- ・ 齊藤専務より ・ ・ 報道については執行部が主導で行うのがいいだろう
- ・ 報道は攻める必要あり・攻め的手段に広告を活用する

- ・塩野理事より・・広報費を広報委員会に予算移行するのか
- ・斉藤専務より・・予算で別に広報には特別事業広報費を設けてある又その他予備費で賄う
- ・澁田常務より・・実際は広告費用は事業広報費より出費している
 - ・③は「広告・報道の活用」とする

※社会貢献委員会

- ・澁田常務より・・親睦委員会から社会貢献委員会に名称が変更
 - ・委員長も木村さんにかわる予定

※支部活動・・記載通り

2. 埼玉代協の事業

3) 広報事業

- ・大徳委員長より・・埼玉代協の広報事業に広告の文字を補記したら
- ・斉藤専務より・・総会資料の継続の原則により変更せずに現状通りとしたい
 - 事業の多くは日本代協より依頼され埼玉代協が活動している部分がある

平成30年度予算（案）承認の件

- ・澁田常務より・・正会員の会費は実態との整合性をとり予算建てした
 - ・入会金は退会者の見込を考慮する 1月～3月は会費もない為

平成30年度年間活動予定表補記

- ・澁田常務より・・組織委員会の9月に代理店賠償説明会を追加
- ・大徳委員長より・・代理店賠償説明会に（企画環境委員会共催）を補記依頼
- ・澁田常務より・・理事会の予定は前年を参考に記入する

組織図

- ・澁田常務より・・議案書では理事の○印は未記入となる
 - 会長、副会長、専務、監事を未記入となる
- ・澁田常務より・・会長はじめ理事等は総会をもって選任されるため
 - 日本代協出向者、横山・大徳の記入はOK
- ・澁田常務より・・組織図完成は第3号議案決定後に完成させる
- ・澁田常務より・・委員会、委員長、副委員長を確認 社会貢献委員会、副委員長決まらず
- ・萩原委員長より・・玉野上透→五野上透に訂正 中島竜二は理事で○を補記

■第5号議案

- ・澁田常務より・・合計会員数には一般会員を含め396名である

平成29年度埼玉代協の社会貢献活動報告について

- ・澁田常務より・・4月5日埼玉新聞協賛広告掲載について
 - 掲載は4月に入ってからであるが、29年度中に計画したものなので掲載OKとしたい
- ・大徳委員長より・・やろうと決めたのは29年度中なのだからOKでは
- ・斉藤専務より・・29年度（4月から翌年3月）の社会貢献活動報告となるべき
 - ・実際、広告掲載は翌年度4月の活動である
- ・澁田常務・・では表題を「平成29年度」ではなく「この一年間の」に変更する

※埼玉代協スローガン確認

※慶弔規程確認、定款の掲載は省く

■その他追加修正事項

- ・ 関根顧問より・・・ページ数の記入は有るのか
- ・ 澁田常務より・・・印刷前なので今回は無いが実際の総会資料には記入する
- ・ 岩瀬委員長より・・・会員増強、新入会員名 (株) 東京親和社寺井→東京信和社寺井
- ・ 岩瀬委員長より・・・代申会社 日新→日新火災に統一

※30年度年間活動予定表に追加

- ・ 山内支部長より・・・西部支部・南部支部 10月に地震保険キャンペーン補記
- ・ 木村支部長より・・・東部支部 9月に無保険自動車追放キャンペーン補記
- ・ 澁田常務より・・・南部支部12月忘年会は？OK 北部支部は支部会をやらない

※第4号議案 社会貢献委員会

- ・ 山崎委員長より・・・①②③④⑤を入替②③①④⑤に変更
- ・ 山崎委員長より・・・平成29年度埼玉代協の社会貢献活動報告の左ページ中段 埼玉県交通安全対策協議会への後に交通遺児に毎年援助していたので10回目の寄付を行いました。と補記依頼
- ・ 藤井副会長より・・・組織図の東部支部、広報委員 稲葉恵理香→稲葉恵里香へ訂正

② 総会・講演会・懇親会のタイムスケジュール、役割分担について

- ・ 澁田常務より・・・別綴じのハガキ、委任状の説明、議案書同封文書の説明
- ・ 澁田常務より・・・基調講演の案内、講師プロフィール内(事業継承計画→事業継続計画) 訂正
- ・ こども110番ステッカーも間に合えば入れる

■総会、役割分担につて

- ・ 澁田常務より・・・当日のスケジュールと役割分担について 食事を済ませて午後0時集合 平成30年度・総会 役割分担(案)より空欄補記
- ・ 司会(基調講演) 澁田常務
- ・ 議長 見澤芳昭 支部長、委員長以外で願います
- ・ 議事録作成者 西部支部・塩野新支部長指示により決定
- ・ 議事録署名人 29年度会長、監事
- ・ 来賓誘導 1F受付の場合親睦委員会 5F広報委員会 親睦委員会及び広報委員会で連絡を密にしスムーズな誘導を
- ・ 第3号議案と第4号議案の理事会司会は齊藤専務
- ・ 新理事・新監事の印鑑持参依頼は事務局より案内する 総会には新旧とも常に持参する

■総会式次第

- ・ 澁田常務より・・・次第進行について説明
- ・ 開会の辞～来賓祝辞まで・・・司会者
- ・ スローガン唱和～日本代協倫理綱領唱和まで・・・藤井副会長
- ・ 定足数確認・・・司会者
- ・ 議長選出・・・岩瀬委員長
- ・ 議事録作成人及び署名人の選任・・・議長

- ・ 第 1 号議案 ・ ・ 清水会長
- ・ 決算報告承認の件 ・ ・ 齊藤専務
- ・ 監査報告承認の件 ・ ・ 杠葉監事
- ・ 第 2 号議案 ・ ・ 清水会長
- ・ 第 3 号議案 ・ ・ 清水会長
- ・ 第 3 号議案後 1 5 分間休憩、この間 1 F で理事会を行い会長 ・ 副会長 ・ 専務を決定する
- ・ 第 4 号議案前の注意事項
- ・ 各委員長及び各支部長は第 4 号議案前に前方で着座
- ・ 各委員長は具体的な委員会活動を説明
- ・ 各支部長は各支部の 3 0 年度の具体的取り組みを発表
- ・ 第 4 号議案 ・ ・ 澁田新専務
- ・ 第 5 号議案 ・ ・ 司会者
- ・ 藤井副委員長より ・ ・ 前年度の司会進行での反省を踏まえ司会者が見失うことの無いよう遅れてきた来賓を指定の席に着座させる 企画環境委員会で誘導する
- ・ 来賓祝辞予定者 森尾課長、河内業務部長、横山理事
- ・ 懇親会挨拶 国会議員先生 3 名
- ・ 山崎委員長より ・ ・ 来賓誘導の件 1 F → 5 F の連携を密にするよう再徹底遅れてくる人の対応を広報、親睦で携帯等を活用し連携を取る
- ・ 澁田常務より ・ ・ 議長は見澤芳昭理事で決定する
- ・ 齊藤専務より ・ ・ 塩野次期支部長に出席者集計の件で指示

③ その他 ・ ・ なし

協議

① その他 ・ ・ なし

3. 報告 ・ 依頼事項

組織委員会

- ・ 岩瀬委員長より ・ ・ 残念ではあるが 3 月末で 8 代理店が退会、しかし昨年は 1 9 の新会員が加入され 3 9 5 店となる 会員増強より会員の活性化
- ・ 清水会長より ・ ・ 新会員の 1 9 店を総会へ誘導するよう指示
- ・ 岩瀬委員長より ・ ・ 各支部長に協力要請し出席依頼に努める 合わせて組織委員からの声掛け

教育委員会

- ・ 澁田常務より ・ ・ コンサルティングコースの受講生 8 0 名超を達成大きな成果を挙げるセミナー開催を年 3 回から 4 回へと強化を図る
今年度は新入会員オリエンテーションが出来なかった

新風会

- ・ 岩崎支部長より ・ ・ 新年度第 1 回目のご案内に時間訂正あり再 F A X にて再案内する

企画環境委員会

- ・ 大徳委員長より ・ ・ 東関東ブロック代表で出席 代理店賠償の拡販に向け組織委員と協力し更なる推進に努める DVD の有効活用も実践する
- ・ 清水会長より ・ ・ 情報収集に努め会員にフィードバックをしてほしい

親睦委員会

- ・山崎委員長より・・2期4年間の重責を全う 今期の集大成5月の総会を成功させたい
依頼事項として総会案内に会費等の明細も同封依頼

広報委員会

- ・山崎委員長より・・次期新委員長へのスムーズな移行を推進又、ホームページの充実を図る
為に協力する

中央支部

- ・岩崎支部長より・・今年度は新風会にウエイト大であった新年度は支部活動を活性化させる
- ・清水会長より・・代理店の数も多く掘り起こしをお願いしたい

東部支部

- ・木村支部長より・・年間スケジュールを実行し支部会出席率を向上させる
- ・清水会長より・・新役員も参加頂いており更なる活性化を

西部支部

- ・山内支部長より・・組織としてメンバーが運営委員、理事へとステップアップが出来るお手
伝いが出来れと思う

南部支部

- ・池浦支部長より・・弁護士先生との懇談会を企画し連携を密にセミナーに注力する

北部支部

- ・萩原支部長より・・2期4年間有難う御座いました、次期新支部長にしっかりと引継を行う

日本代協出向者報告

- ・清水会長より・・組織図内について
- ・斉藤専務より・・日本代協への出向委員として機関紙編集室に熊谷次期広報長を推薦
出席を依頼する
- ・杠葉副会長より・・広報の成果として皆様の保険情報で75, 835部と前年対比で
+2, 170と活性化した 今後も目に見える活動としてコンセプト
ムービー・web 広告・YouTubet 等を拡大する 会員も随時見に行くこと
が必要、費用対効果を考え充実したホームページ活用を実践する
皆様の保険情報は募集文章ではないとの見解
- ・山崎委員長より・・日本代協の発行誌の校正を担う、新行事は新年度に繋げたい
- ・横山理事より・・埼玉代協活動は素晴らしく活性化する、特に新風会はよかった一部のマン
ネリ化も有る、会員数・395店・コンサルティングコース・404.5%
達成全国4位
特質すべきもの
個人情報漏えい問題・・TN社5400名分
金融検査監督の見直し・・金融庁、法令遵守はあたりまえ、お客様目線で
公正、公平の考え方入店時の指摘事項・教育、研修記録の不備が目立つ
業界動向・・IT会社、N生命の動きネット活用へ
清水会長と森尾課長の接点強化が図られている効果が大きい
30年度はアクションプランニングシートを作成活用すると良い
- ・清水会長より・・類似法人で埼玉県損害保険組合の活動は如何なものか
全国でセミナー活用し会員拡大に努めている
- ・横山理事より・・保険毎日新聞も紹介している活動はするも意識する必要は無さそう
今後の活動を見て行く必要あり

代理店賠償はアリアンツで補償内容も違いがある
埼玉代協では現在のチャブが充実している

4. 情報交換

- ・ 齊藤専務より ・ ・ 埼玉代協の会員数推移表を活用し千葉代協との過去12年間の会員数増減と組織率を比較、組織率において千葉代協を上回る
千葉代協の2017年度会費は、3名まで3万円・4～9名まで5万円
10～19名まで7万円・20～49名まで10万円・50名以上は15万円
千葉代協は会費アップし会委員数を減らしている、今後の会費アップの検討材料になる
- ・ 横山理事より ・ ・ 会費アップを新プロジェクトの活用していく
- ・ 清水会長より ・ ・ 大阪にて院内報告や、乗合問題等のセミナーが有る旨の報告
- ・ 澁田常務より ・ ・ 30年度6月の理事会前の打合せ予定について
6月29日（金）午後5時30分より 場所は宇宙劇場で決定する

5. 監事講評

- ・ 杠葉監事より ・ ・ スピーディーな議事進行を評価
総会資料作りは大変である、完璧なものを提供し欲しい
総会に向けスムーズな対応に協力願う

6. 閉会宣言

- ・ 清水課長より ・ ・ 理事会の終了を宣言される

以上